

令和6年度進行管理・評価シート
高岡市歴史的風致維持向上計画(令和3年3月5日認定)
(最終変更令和7年3月31日)

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)(第3章関係)		
1 計画の実施と推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)(第4章関係)		
1 都市計画法の活用	2
2 景観計画の活用	3
3 屋外広告物に関する規制	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)(第6章関係)		
1 高岡御車山保存修理事業	5
2 菅笠保全対策事業	6
3 次世代型ものづくり人材育成事業	7
4 創業・事業承継支援補助事業	8
5 文化財等修理補助事業	9
6 ものづくり・デザイン科推進事業	10
7 祭行事・イベント振興事業	11
8 コミュニティ助成事業	12
9 前田利長墓所整備事業	13
10 市内町家等再生事業	14
11 金屋鋳物師町交流館整備事業	15
12 高岡城跡保存整備事業	16
13 勝興寺公開活用事業	17
14 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	18
15 県道岡・笹川線道路整備事業	19
16 勝興寺寺内町道路修景整備事業	20
17 吉久地区道路修景整備事業	21
18 町並み保存・都市景観形成補助事業	22
19 「赤レンガ建物」利活用事業	23
20 前田家関連史跡調査事業	24
21 ミラレ金屋町開催事業	25
22 獅子舞大競演会開催事業	26
23 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業	27
24 「高岡再発見」プログラム事業	28
25 新たな芸術・文化創造推進事業	29
26 日本遺産魅力発信推進事業	30
27 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業	31
29 越中国府関連遺跡調査事業	32
31 どこでもステージ事業	33
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)(第5章関係)		
1 文化財の保存・活用の現況と今後の具体的な計画	34
2 文化財の修理(整備)に関する具体的な計画	35
3 文化財の保存・活用を行うための施設に関する具体的な計画	36
4 文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画	37
5 文化財の防災に関する具体的な計画	38
6 文化財の普及・啓発に関する具体的な計画	39
7 埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画	40
8 各種団体の状況及び今後の体制整備の具体的な計画	41
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 効果・影響等に関する報道	42

口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	43
-------------------------	-------	----

評価軸① 組織体制		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
1 計画の実施と推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	高岡市歴史的風致維持向上計画の実施及び推進に係る連絡調整を行うため、法に基づき高岡市歴史まちづくり協議会を組織し協議する。また、歴史都市形成プロジェクトの推進及び計画に基づく施策・事業の進捗を図るための庁内組織として、副市長をトップとする「歴史まちづくり推進会議」を設置し協議する。その他、必要に応じて都市創造部次長をトップとし、関係部局の課長級職員で幹事会を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくりの推進や関連する取り組み状況の市民への周知方法、伝統工芸技術の保存継承対策等の各諸課題について検討した。 【定量的評価】 協議会1回開催、推進会議1回開催、幹事会1回開催 【定性的評価】 協議会を通して各専門分野の方々の意見を得られたので今後も本市の歴史的風致のより一層の向上に繋がられるように努めていく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○高岡市歴史まちづくり協議会(書面開催) ○高岡市歴史まちづくり推進会議(書面開催) ○高岡市歴史まちづくり推進会議幹事会(書面開催)			
歴史まちづくり計画の推進体制			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
1 都市計画法の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

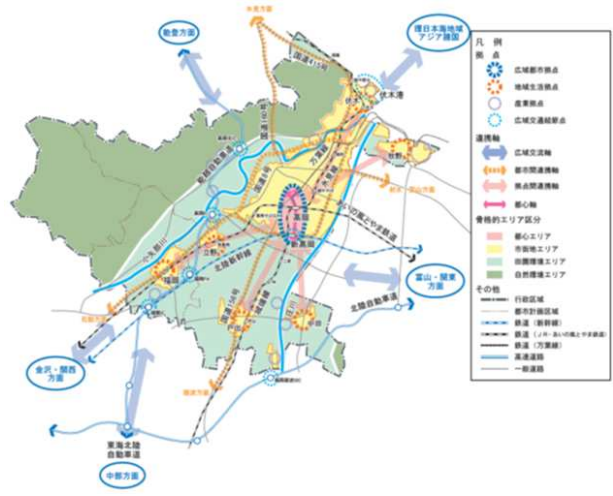
重点区域における景観計画の推進や市民意識の高揚に従い、より明確にかつ強制力のある景観形成を図る必要があると認める場合は、高度地区や景観地区等の活用も検討していく。
 重要伝統的建造物群保存地区において、修景基準及び許可基準を運用し、修理や現状維持、地区内での調和のとれた修景を図る。
 その他、風致地区に指定している5地区について、地区内の自然的景観を保全し、良好な市街地環境の維持を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

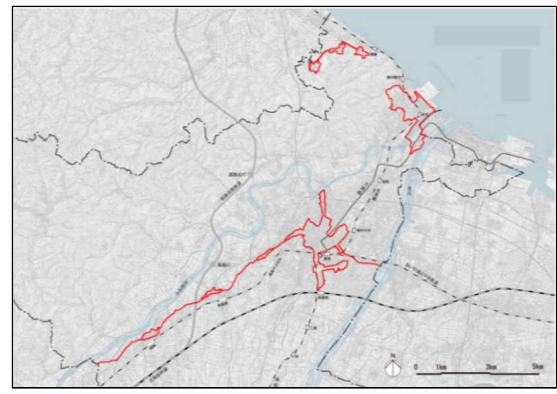
都市計画マスタープランでは都市づくりの基本方針の一つとして「歴史・文化と自然を活かした都市づくり」を掲げている。
 太田地区では、武田家住宅や国泰寺などの歴史資産を保全・活用する。伏木地区では、勝興寺などの文化財の保存修理事業、勝興寺寺内町旧参道における道路修整整備事業の推進や建築物の景観誘導への支援を進めるとともに、勝興寺風致地区の運用、景観計画に基づく規制誘導や屋外広告物の規制強化等も検討し、歴史的風致の維持・向上を図る。また、山町筋、金屋町、吉久地区瑞龍寺周辺、及び立野地区等の旧北陸道沿いにおいては、居住を維持・誘導するほか、町家や空き家・空き店舗を工房、店舗、ゲストハウスなどにリノベーションするなど、文化財の保全・活用を促進する。景観計画に基づく規制誘導や屋外広告物の規制強化等も検討し、歴史的風致の維持・向上を図る。
 都市計画マスタープランと併せて景観計画や屋外広告物の規制と連携して調和の取れた修景に取り組んでいる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等




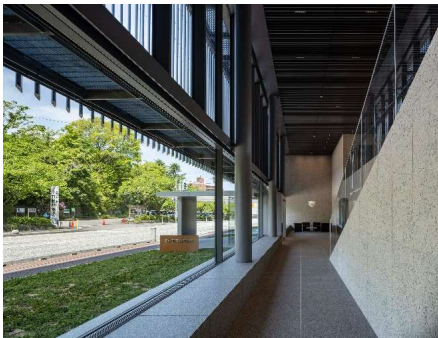
市全体の将来都市構造図



歴史まちづくり計画の重点区域

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
2 景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	重点区域のうち歴史的風致を形成している地区を景観形成重点地区に指定する。また、市全域に適用している景観形成基準について、色彩基準(マンセル値設定)を新設し、併せて景観法に基づく届出対象行為を拡大し、周辺環境との調和を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観法に基づく届出件数 令和3年度:57件 令和4年度:45件 令和5年度:25件 令和6年度:13件 届出対象行為の拡大により、一定の届出件数がある。 届出行為に対する景観誘導の指導・助言によって、景観計画の周知とともに、地域に合わせた周辺環境との調和が図られるなど良好な景観形成につながっている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">富山新聞高岡会館(撮影 小川重雄)</p> <p style="text-align: center;">景観計画に基づき、古城公園の緑豊かな景観と調和した意匠とした事例</p>			

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	

3 屋外広告物に関する規制

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 富山県屋外広告物条例に抵触する違反屋外広告物の是正指導等、適正化の徹底を図るとともに、高岡市条例の制定について検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

富山県屋外広告物条例の改正に伴い既存不適格となった屋外広告物の是正に対して、条例の趣旨説明や是正に向けた働きかけを行ったほか、違反広告物の是正を図っている。

- ・既存不適格是正実績(直近3年)
令和4年度:10件、令和5年度:4件 令和6年3件

既存不適格の屋外広告物の是正により、歴史的な町並みの保全及び良好な景観の形成につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

既存不適格広告物の是正はおおむね終了した。是正が完了していない企業に対しては、引き続き、是正計画書を提出させる等して是正指導の強化を図りたい。

状況を示す写真や資料等

既存不適格広告物の是正事例
(屋上広告の除却)



是正前



是正後

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
1 高岡御車山保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成17年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(高岡御車山 民俗文化財 保存修理事業)		
計画に記載している内容	重要有形・無形民俗文化財「高岡御車山」の山車に経年劣化や損傷がみられることから、順次修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
定性的評価:重要有形・無形民俗文化財「高岡御車山」の修理によって後世への継承や地域の独自性の向上等に寄与した。 令和6年度 ①小馬出町 籠修理…籠の復原新調 ②一番街通 鉾留龍頭笹の葉修理…破損箇所を修理 ③二番町 標旗修理…復原新調 ④二番町 柱巻修理、保存箱の新調…既存の柱巻の裏面に布をあてる ⑤二番町 鉾留修理…鉾留棹を取り付ける「ロウソク」と呼ぶ部材の修理 ※その他修理委員会の今後の体制の検討			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
【一番街通】鉾留龍頭笹の葉修理			
			
	3Dデータによる 現況確認	部材の修理・新調	完成
【二番町】鉾留修理			
			
	現況確認	加工中	完成

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
2 菅笠保全対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(越中福岡の菅笠製作技術伝承・活用等事業)

計画に記載している内容
 重要無形民俗文化財である越中福岡の菅笠製作技術は、製作技術者や菅生産量が減少の一途をたどっていることから、製作技術の維持・存続に向けて菅保全対策事業を実施するもの。
 菅笠づくりの後継者育成指導や研修、菅田保全のための調査等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市支援実績
 ・菅笠製作技術後継者育成(技術習得のため育成活動団体と協力して実施)
 ・菅笠展示・実演(イベントでの周知普及の実施及び団体への支援)
 ・菅笠保全活動団体との連携事業(体験講座の実施及び団体への支援)
 ・菅田保全のための調査(菅田の現況把握等)
 ⇒年々減少傾向にある。データを蓄積するため、調査を継続していきたい。
 現状維持を目標としてスゲ生産組合等とも連携し対策していきたい。
 令和6年度から越中福岡スゲ生産組合が主導し、試験田を耕作開始
 ・ブランド化等事業(新しい菅笠の提案等実施団体への支援)

No.	活動内容	R5		R6		実施団体
		回数	参加者数	回数	参加者数	
1	菅笠講座(笠骨)	20回	10名	20回	9名	H30～高岡市
2	菅笠講座(笠縫)	20回	20名	20回	22名	H30～高岡市
3	体験講座	8回	86名	4回	65名	H30～高岡市・越中福岡の菅笠製作技術保存会

菅田面積の推移 単位：a

R2	R3	R4	R5	R6
36.4	32.42	30.42	25	21.34

上記支援や活動によって、越中福岡の菅笠製作技術の後継者育成・周知については、今後も計画を継続すれば、一定の維持はできる見込みであるが、菅田減少による菅生産量の減少に歯止めがかかっていない状況であるので、農業団体等との連携や作業量と費用の少ない効率的な菅栽培技術の確立等が必要となる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	(課題)⇒高齢化による技術保持者の減少(対応策)⇒後継者育成講座の充実 (課題)⇒資材高騰、高齢化による菅田の減少(対応策)⇒農業団体等との連携

状況を示す写真や資料等

後継者育成講座(笠骨・笠縫)



菅田調査



菅笠づくり体験



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
4 創業・事業承継支援補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	高岡市内の中小企業者の創業及び事業承継による新たな取り組みを支援し、もって本市ものづくり産業の持続的成長を図る。
-------------	--

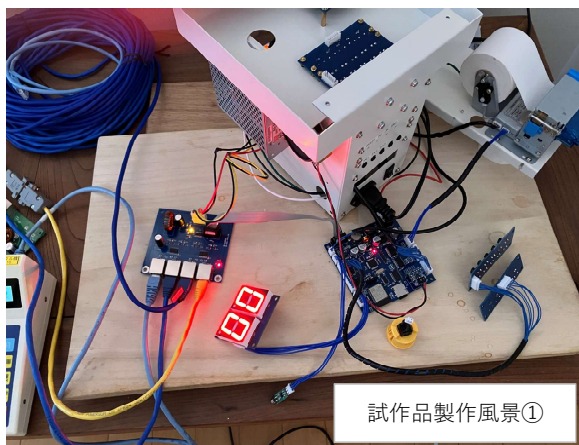
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ものづくりに関連する業種で創業・事業承継する中小企業又は創業・第二創業・事業承継から3年未満の中小企業で新たな取り組みを実施する者に対して店舗等の改装費、設備費、原材料費などの費用の2分の1以内、更に市内への移住希望者、移住後3か月以上1年未満の移住者、女性又は40歳未満の若手事業者については3分の2以内で補助金を交付する(いずれも上限は50万円)。令和6年度採択件数:2件、相談件数:14件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当該事業については今年度も、より広い範囲でものづくり分野に対し支援を実施する見込み。また、令和5年度より経営後継者育成等に関する研修等の人材育成に対して新たに支援を開始した。今後も、支援対象者のニーズを把握しつつ、効果的な支援策の実施に取り組む。

状況を示す写真や資料等

R6採択事業の「新型自動窓口受付機 開発事業」(キューシステム合同会社)



試作品製作風景①



試作品製作風景②







試作品製作風景③

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
5 文化財等修理補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高岡地域文化財等修理協会に補助し、事務局である(公財)高岡地域地場産業センターと連携を取りながら、高岡御車山をはじめとする文化財の保存修理を図るとともに、高岡伝統技術の次世代への継承を図るもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
職人技の伝承資料を作成し、これらの記録、資料作成等を実施しているほか、人材育成事業(視察、研修会(令和6年4月13/14日、滋賀県長浜町、参加者15名)への参加)を行うことによって、伝統技術の承継に寄与している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	修理業務が多い年と少ない年がある。そのため、引き続き記録や資料を作成することによって、技術継承を可能にしていきたい。		
状況を示す写真や資料等			
研修会を開催			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
6 ものづくり・デザイン科推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成18年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	本市の伝統的工芸品である高岡漆器、高岡銅器等を中心に地元の優れた産業について、体験を通じた学習を行う。 高岡市立学校の小学5年生・6年生、中学1年生を対象に、小学5年生は年間20時間、小学6年生・中学1年生は年間25時間の授業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・令和6年度は、小学6年生、中学1年生で青貝塗りの角トレーや姫鏡、錫のオリジナルプレートや小物等の制作に取り組んでいる。小学5年生は、大学、市デザイン工芸センター、美術館、伝統工芸師等の地域人材を招聘し、デザイン学習に取り組んでいる。 ・高岡市の伝統工芸や地域の産業について、見る、触れる、体験することにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てることにつながっている。 ・令和5年度事業に関するアンケート調査では、楽しんで学習をしている児童生徒が96%、教育的効果があると考える保護者が97%となっている。令和6年度の事業に関する児童生徒等へのアンケート調査については、年度末に実施予定である。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・例年同様、4月より実習を進める。		
状況を示す写真や資料等			
			
5年デザイン学習		6年鋳物実習	
			
児童生徒の作品展示			

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
7 祭行事・イベント振興事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高岡御車山祭、伏木曳山祭、二上射水神社築山行事、八丁道おもしろ市、御印祭へ補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は以下の祭行事・イベントへの補助を行った。 ・伏木曳山祭(令和6年5月18日開催) ・二上射水神社築山行事(令和6年4月23日開催) ・八丁道おもしろ市(令和6年5月19日、10月20日開催) ・高岡御車山祭(令和6年5月1日開催) ・御印祭(令和6年6月19日開催)			
高岡の歴史的風致の重要な要素となる祭礼等を支援することにより、事業継承や担い手の育成につながった。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">  </div>			

評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
8 コミュニティ助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	コミュニティ助成事業		
計画に記載している内容	必要に応じて学識経験者等の助言を得ながら、地域の祭礼・年中行事などの地域文化への支援やコミュニティ活動等に対して助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域固有の祭礼・年中行事は本市の歴史的風致を構成する重要な要素のひとつである。 祭道具の修理・購入等への支援を行うことで、地域祭礼行事が継承されていくとともに、本市の魅力がより一層高まると期待できることから、市内全域の歴史的風致の維持及び向上につながっている。 令和3年度助成: 5団体(上牧野自治会・頭川自治会・伏木本町自治会・太田東部自治協議会・東町自治会) 令和4年度助成: 0団体(申請なし) 令和5年度助成: 1団体(二番町自治会) 令和6年度助成: 3団体(佐加野自治会・矢田自治会・谷内自治会)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
太鼓台(佐加野自治会)		烏帽子(矢田自治会)	
			
獅子頭(谷内自治会)		天狗面(矢田自治会)	
			

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
			現在の状況
9 前田利長墓所整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成25年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(史跡等総合活用整備事業)

計画に記載している内容	国指定史跡前田利長墓所について、保存管理計画及び整備基本計画に基づく復原修理事業を実施する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

定性的評価: 保存管理計画及び整備基本計画に基づく復原修理事業によって国指定史跡前田利長墓所の魅力向上に寄与する。今年度は令和6年能登半島地震の被害を受けて復旧に取り組む。

- R6年6月 倒壊灯笼撤去
- R6年7月 安全対策実施後一部開放
- R6年8月～ 3Dレーザー測量による被害調査、地盤工学会による調査
- R6年9月 大灯籠解体調査
- R6年6～9月 草刈り実施

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



大型灯笼撤去
※安全な場所に移動、耐震対策後積み直し予定



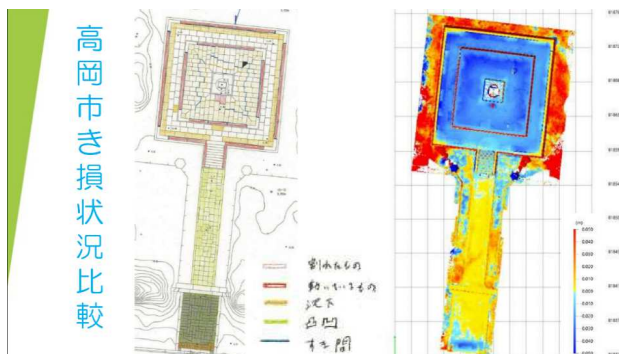
墓所草刈り実施風景



安全対策



大灯籠解体調査



3Dレーザー測量結果
沈下など被害を確認

高岡市き損状況比較

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	

10 市内町家等再生事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成25年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 登録有形文化財をはじめとする市内の町家に経年劣化や損傷が見られることから、歴史的風致形成建造物に指定し、その修理に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町家等の文化財的価値の向上を図り、歴史的風致の維持・向上に寄与している。
 H24年度 若井家住宅、高岡商工会議所伏木支所
 H25年度 佐野家住宅、丸谷家住宅主屋・土蔵
 H26年度 有藤家
 H27年度 大手町神明社拝殿 ※高岡市指定文化財
 H28年度 五福町神明社本殿 ※高岡市指定文化財
 H29年度 佐野家住宅
 令和4年度は補助実績なし
 令和5年度 若井家主屋(旧中越銀行)※雨漏り、土蔵壁面修理
 令和6年度補助実績なし※令和6年能登半島地震により被災した建造物の所有者に対して補助を活用するよう案内した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

過去の修理実績

R5年度



若井家主屋(旧中越銀行)

H25年度・H29年度



佐野家住宅(主屋・茶室・1番の蔵・2番の蔵・度蔵・味噌蔵・防火壁)

H25年度



丸谷家住宅主屋・土蔵
(旧津野家住宅)

H26年度



有藤家住宅

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
11 金屋鑄物師町交流館整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和13年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	金屋町において鑄物師町交流館を整備し、伝統的建造物群保存地区の景観を向上させるとともに、地区内の鑄物関係者をはじめとした様々な人が交流することで、高岡の伝統的な鑄物技術の継承と地域の活性化を推進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度	整備計画の策定		
平成29～30年度	建設用地取得、設計		
令和元年度～2年度	建設工事(研修棟)※R2.9.18供用開始		
令和5年度	整備計画の変更(工房棟建設予定地を駐車場に変更)		
令和6年度	駐車場基本実施設計、交流展示棟基本実施設計		
令和7年度	交流展示棟整備		
令和8年度～	駐車場整備		
研修棟利用実績	R2年度:4件 R3年度:9件 R4年度:7件 R5年度:2件 R6年度:19件		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	工房棟の建設を見直し、令和6年度に駐車場及び交流展示棟の基本実施設計を進めている。 令和7年度以降は交流展示棟から順次整備を進める。		
状況を示す写真や資料等			
			
研修棟外観		研修棟内部	
			

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
12 高岡城跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(史跡等総合活用整備事業)		
計画に記載している内容	史跡の高岡城跡について、保存活用計画及び整備基本計画に基づく保存整備事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
定性的評価: 史跡「高岡城跡」の保存整備によって景観改善等に寄与した。 令和6年度 ①令和5年度から引き続き旧高岡市民会館解体に伴う二の丸の範囲確認調査 ②高岡城跡リーフレットを活用した出前講座、AR看板の設置 ③令和6年能登半島地震で被害を受けた本丸土橋の3Dレーザー測量調査 ④景観再生プロジェクト2024 クラウドファンディングの実施			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
旧高岡市民会館解体工事に伴う範囲確認調査 		出前講座 	
本丸土橋の3Dレーザー測量調査 ※軽微な変動を確認 		高岡城跡リーフレットを活用したAR看板の設置 	
高岡城跡本丸土橋石垣 三次元点群画像 内堀 		景観再生プロジェクト2024 クラウドファンディングの実施 	
現況と実現したい整備イメージ 			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
13 勝興寺公開活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要文化財勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理が完了し、今後、富山県指定文化財勝興寺宝物修理を進めるほか、インバウンド対応等に向けた情報コンテンツ整備を図るもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

定性的評価: 国宝指定記念事業の開催や県指定工芸品の修理等によって国宝勝興寺の魅力発信に寄与した。

令和6年度事業内容

- ①県指定工芸品修理事業(梅鉢文蒔絵女乗物)
- ②多言語解説整備
- ③勝興寺宝物展「勝興寺と和歌の世界」(R6.11.2～24)
- ④勝興寺国宝指定記念写真集撮影及び発行
- ⑤地域資料調査

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



多言語解説整備現地調査

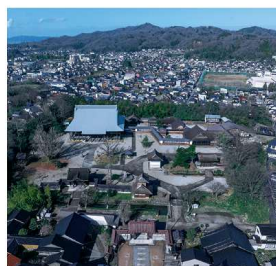


地域資料調査



勝興寺宝物展

「国宝」雲龍山
 勝興寺
 撮影・田村収



勝興寺国宝指定記念写真集

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
14 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成13年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(伝統的建造物群基盤強化事業)		
計画に記載している内容	山町筋伝統的建造物群保存地区及び金屋町伝統的建造物群保存地区、吉久伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
定性的評価:重要伝統的建造物群保存地区の修理・修景によって歴史的な町並みの保全に寄与した。また、併せて令和6年能登半島地震で被災した建造物の復旧を実施した。			
令和6年度	<通常修理・修景>	<災害復旧>	
	①【山町筋地区】河合家住宅主屋修理工事(K-0006)	⑤【山町筋地区】牧野家住宅土蔵修理工事(C-0023)	
	②【吉久地区】西照寺鐘楼修理工事(Y-0020)	⑥【金屋町地区】最勝寺経蔵修理工事(K-0047)	
	③【吉久地区】西照寺塀修景工事	⑦【吉久地区】浅野家住宅土蔵修理工事(Y-0039)	
	④【金屋町地区】金屋町旧社交場修理工事(K-0060)	⑧【吉久地区】折田家住宅土蔵修理工事(Y-0048、49)	
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
①【山町筋地区】河合家住宅主屋着手前		工事完了後	
	➔		
③【吉久地区】西照寺塀修景工事着手前		工事完了後	
	➔		
⑥【金屋町地区】最勝寺経蔵修理工事着手前		工事完了後	
	➔		

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
15 県道岡・笹川線道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成26年度～令和12年度
支援事業名	都市構造再編集中支援事業補助、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、県単独事業、市単独事業

計画に記載している内容	県道岡・笹川線の(都)中央線区間において、カラー舗装や側溝敷設替などの修景整備を行う。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・関係機関との協議・調整を行いながら、全長880mの修景整備を実施するものである。

・定性的評価(実施内容)

平成29年度 測量設計業務委託を実施

平成30年度 関係機関との協議・調整を実施

令和元年度 市:電柱の修景化を実施(6箇所)
 県:側溝改修工事(100m)と消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(110m)を実施

令和2年度 市:電柱(8箇所)と照明施設(4箇所)の修景化を実施
 県:消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(331m)を実施
 側溝改修工事(150m)を実施

令和3年度 市:電柱(2箇所)と照明施設(4箇所)の修景化を実施
 県:消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(150m)と舗装工事(250m)を実施

令和4年度 市:電柱(4箇所)と照明施設(3箇所)の修景化を実施
 県:消雪配管リフレッシュ工事(修景化工事)(298m)と側溝改修工事(83m)を実施

令和5年度 市:電柱(4箇所)と照明施設(3箇所)の修景化を実施
 県:舗装工事(556m²)を実施

令和6年度 市:電柱(6箇所)と照明施設(2箇所)の修景化を実施
 県:側溝改修工事(80m)を実施

・当該事業によって、道路景観の改善が図られるとともに、歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間の創出にもつながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

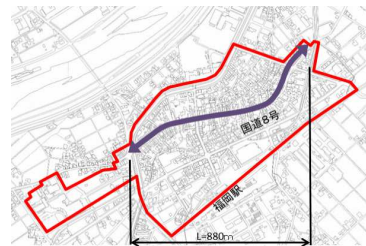
状況を示す写真や資料等



旧北陸街道福岡地区の町並み



工事後(電柱、側溝、消雪管、舗装)の状況



事業箇所図

評価軸③-16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
16 勝興寺寺内町道路修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和12年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)		
計画に記載している内容	伏木地区ストリート構想に則し、旧参道を中心とした道路修景整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>《平成29年度》 基本計画作成にあたり地元住民の意見を参考にするため、まち歩きやワークショップを開催した。 ・まち歩き・第1回ワークショップ(平成29年9月24日開催) ・第2回ワークショップ(平成29年10月29日開催)</p> <p>《平成30年度》 実施設計のため現地測量や関係機関との協議を実施した。</p> <p>《令和元年度》 ・修景整備内容について住民説明会を開催(令和元年7月18日開催) ・電柱移設(カラーポール化)5本 ・照明設置(電柱共架)5基 ・第1回高岡市新規デザインマンホール蓋検討委員会(デザイン方針決定 — 令和元年8月28日開催) ・第2回高岡市新規デザインマンホール蓋検討委員会(デザイン決定 — 令和2年1月30日開催)</p> <p>《令和2年度》 ・電柱移設(カラーポール化)3本・照明設置(電柱共架)5基 ・デザインマンホール蓋設置10箇所</p> <p>《令和3年度》 ・側溝整備</p> <p>《令和4年度》 ・側溝整備</p> <p>《令和5年度》 ・側溝整備</p> <p>《令和6年度》 ・側溝整備</p> 事業の実施により道路景観の改善及び歩行空間の創出が図られた。 事業を継続しており、道路景観の改善及び歩行空間の創出を図っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		令和7年度以降は、能登半島地震による伏木地区内の復旧工事を優先して実施する	
状況を示す写真や資料等			
<p>至 勝興寺</p> <p>八幡社 勝興寺寺内町(旧参道)</p> <p>至 伏木駅</p> <p>伏木北前船資料館</p> <p>令和6年度実施</p> <p>令和5年度までの実施箇所</p>			

評価軸③-17 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
17 吉久地区道路修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和5年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	高岡市吉久重要伝統的建造物群保存地区において、側溝整備やアスファルト舗装のカラー化などの道路修景整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は、以下のとおり事業を実施した。 ・消雪測量設計業務委託 ・電柱移設工事 ・側溝整備 ・当該事業によって、道路景観の改善が図られるとともに、歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間の創出にもつながると考えられる。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
吉久伝統的建造物群保存地区(整備前)		側溝整備	
			
修景整備イメージ			
			

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
18 町並み保存・都市景観形成補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～		
支援事業名	市単独事業、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	景観形成重点地区等の区域内で景観づくり基準に適合し、景観形成に寄与する修景を行う者及び景観重要建造物又は景観重要樹木の保存又は管理を行う者に対して補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観形成重点地区等の区域内での修景事業に対する補助を行った。 令和元年度:修景補助3件 令和2年度:修景補助0件 令和3年度:修景補助0件 令和4年度:修景補助2件 令和5年度:修景補助2件 令和5年度:修景補助0件 令和6年度:修景補助0件 県道岡・笹川線の道路修景整備が進められており、沿線住民の景観づくりへの機運の高まりによって修景補助の実績につながった。互いの取り組みにより、良好な景観形成が図られている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

旧北陸街道福岡景観形成重点地区の修景事例



修景前



修景後

当該景観形成重点地区の景観づくりの基準に沿って、既存住宅の外観改修工事に対し助成を行った。

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
19 「赤レンガ建物」利活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和12年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	山町筋重要伝統的建造物群保存地区にある旧高岡共立銀行について、伝統的建造物として調査等を行い、保存及び活用を図るもの。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年7月～ 利活用事業に関する公募型プロポーザル開始 11月 優先交渉権者決定			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	本年度、公募型プロポーザルを実施し、利活用事業を実施する優先交渉権者を決定した。		
状況を示す写真や資料等			
【赤レンガの建物外観】		【赤レンガの建物内観】	
		 	

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
20 前田家関連史跡調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(市内遺跡発掘調査等事業)		
計画に記載している内容	守山城跡の史跡範囲の確認等を目的とした詳細調査を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
定性的評価:守山城跡の調査によって地域資源の発見に寄与した。 令和6年度 ①史料調査 ②現地調査(守山城ほか越中中世城郭) ①②を基に令和6年度末刊行予定の『守山城跡詳細調査概報4』に一連の情報を掲載予定。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
守山城跡の範囲確認調査の様子			

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
21 ミラレ金屋町開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～(ミラレ金屋町開催事業)		
支援事業名	市補助事業		
計画に記載している内容	高岡鑄物発祥の地であり、伝統的な家並みが残る金屋町において、産官学が連携し、金屋町の魅力発信、移住・定住促進事業と、伝統文化やものづくり体験等を組み合わせた「ミラレ金屋町」を開催することにより、金屋町を拠点に、高岡市の中心市街地の賑わい創出を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
来場者に伝統的な町家や文化に触れる機会を提供することで、日本遺産にも登録された「高岡の町民文化」の魅力を広く発信した。また、昨年度に引き続き「工芸都市高岡の秋」として、市場街などと連携を図り、同時期に開催することで、「ものづくりのまち高岡」の歴史的風致に深く関わる工芸の魅力に広く親しむ機会を提供した。 ・開催日 令和6年9月22日～23日 ・来場者数 11,200人 ・内容 町家や石畳通りを利用した工芸品の展示・販売 鑄物、ガラス等のワークショップ ガイドツアー 着物ファッションショー 他			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
工芸都市高岡の秋2024 大型看板(高岡駅設置)		ミラレ金屋町 町並みと暮らしのギャラリー	
			
ミラレ金屋町 着物ファッションショー			

評価軸③-22 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
22 獅子舞大競演会開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	令和6年で49回の開催を迎えた獅子舞大競演会は、中心商店街全体で取り組んできた歴史あるイベントである。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が長時間にわたって楽しめるイベントとして、市民の支持も高く、市外からも多くの方々为中心市街地を訪れており、春の一大イベントとして開催している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致の重要な要素であり、地域ごとに行われる伝統行事の獅子舞を、高岡の中心市街地で競演し、多くの人に見てもらう機会をつくることで継承につながった。 なお、今年度は台湾獅子を含め4つの獅子舞団体を市内外から招いて開催した。(来場者数)17,500人 今後においてもイベントをより良いものにできるよう検討してまいりたい。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業実施にあたっては参加者を含めた安全性を考慮した内容を引き続き検討していきたい。		
状況を示す写真や資料等			
			
獅子絵田獅子方衆の演舞		西新町獅子方若連中の演舞	
			
吉久獅子舞保存会の演舞		江尻青年団の演舞	

評価軸③-23
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	

23 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
土蔵造りの伝統的建造物が集積する山町筋で、町並みの紹介、観光産業の創出等を目的として各種イベントを開催している。
①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(8月)
②山町筋の天神様祭(1月下旬)
③山町筋のひなまつり(3月中旬)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要伝統的建造物群保存地区における土蔵造り建物を活用した各種イベントが行われ、来場者に高岡開町以来の伝統文化に触れる機会を提供するとともに、住民同士や来場者との交流による歴史的町並み保存への理解が深められた。

- ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(令和6年8月3日、4日開催)
土蔵造りの建物のライトアップとクラシックカー展示、マルシェの開催など
- ②山町筋の天神様祭(令和7年1月11日、12日開催)
山町筋の商家に伝わる天神様を土蔵造りの建物で展示、講演会など
- ③山町筋のひなまつり(令和7年3月22日、23日開催)
山町筋の商家に伝わるお雛様を土蔵造りの建物で展示、講演会など

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

山町筋土蔵造りフェスタ



天神様祭



ひなまつり



評価軸③-24
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況

24 「高岡再発見」プログラム事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------------	---

事業期間	平成24年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	高岡市内の小学校、義務教育学校、特別支援学校に在籍している3～6年生の児童が、家族といっしょにスタンプラリー形式で歴史の薫る町並みや建造物、祭りを見学・体験する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年からスタートしていた「高岡再発見プログラム」では、施設で何を学ばいいかわからず、景品やスタンプのみを目的とする人が多かった。このため、高岡の歴史文化の中から1つテーマ選んで紹介し、歴史的背景や施設の見どころを盛り込み、小学生だけでなく大人も目的をもってスタンプラリーしてもらおう。令和5年度から「高岡再発見プログラム『たかおか解体新書』』としてリニューアル実施した。
令和6年度はものづくり2漆器・菅笠編として高岡漆器・越中福岡の菅笠の歴史を学べる内容とした。

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
---	--------------------------

状況を示す写真や資料等



評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
25 新たな芸術・文化創造推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	文化創造都市高岡の実現に向けた4つの戦略(知る、創る、つなげる、伝える)に基づく事業を実施することにより、高岡のさらなる魅力の形成・発信につなげる		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市民一人ひとりが高岡の文化を知り、文化に親しむ機会を創出することにより、高岡のさらなる魅力の形成・発信に取り組んだ。 【実施内容】 ・「市場街」の実施(来場者数:22,300人) クラフトの展示や販売、ワークショップなど、クラフトに関する総合的なイベントを開催。高岡市内の工場・工房をまわる「職人巡りロゲイニング」を実施したことで、イベントのメイン会場である山町筋エリアだけでなく、市内全域で「ものづくりのまち高岡」の魅力を発信することができた。 ・文化創造都市高岡ウェブサイトの運営 高岡市の文化に関するニュース記事を発信(R7.3月末時点PV数 35,403) 高岡で開催される展覧会やイベントを紹介するニュース記事や、高岡を拠点に活躍する「ヒト」に焦点を当てたインタビュー記事を掲載することで、文化創造都市高岡の周知に努めた。 ウェブサイト開設後の最高値となる見込み。記事を更新した際に、FacebookやX(旧Twitter)でも投稿したことが、PV数の増加につながったと考えられる。 ・文化創造都市高岡PRイベントの開催(ひなフェス) 幅広い世代に文化創造都市高岡の魅力を周知するため、音楽や茶道、クラフト等の文化を体験いただき、多様な文化を知ってもらう機会を創出するイベントを開催した。(来場者数:1,646人)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
市場街の開催		市場街チラシ	
			

評価軸③-26
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	

26 日本遺産魅力発信推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	---

事業期間 平成27年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
本市の日本遺産のストーリー(「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡-人、技、心-」及び「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」)を通して、歴史的魅力に溢れた文化財群の国内外に向けた普及啓発や情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年7月に文化庁の日本遺産総括評価において高岡市の日本遺産「加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡一人、技、心」が「認定継続」の評価を受けた。今後は認定を受けた「日本遺産を通じた地域活性化計画」(R6～11年度)に沿って事業を進めていく。

【実施内容】

- ・高岡大仏多言語リーフレットの制作
- ・観光ボランティア養成講座で日本遺産ストーリーの講義を実施
- ・ツーリズムEXPOジャパン(9月)への出展
- ・日本遺産フェスティバルin会津若松(10月)への出展
- ・高岡城跡リーフレット増刷
- ・海上保安庁の海図を活用した伏木港の歴史を解説するパネル制作
- ・高岡日本遺産給食の実施(令和7年2月6日(木)、12日(水)、13日(木))

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



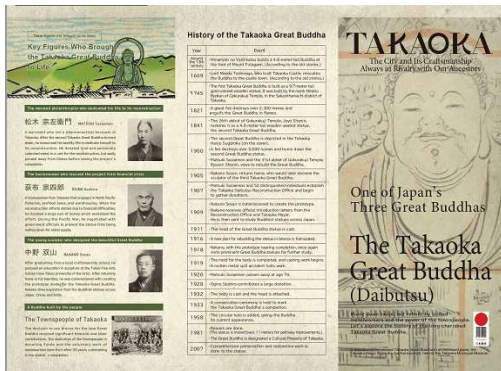
観光ボランティア養成講座



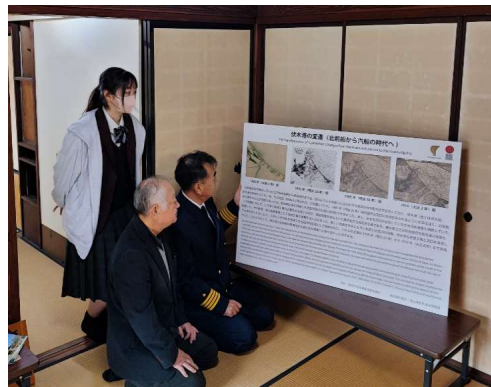
日本遺産フェスティバル
in極上の会津 PRブース



ツーリズムEXPOジャパン
PRブース



高岡大仏多言語リーフレット



海上保安庁の海図を活用したパネル
(伏木北前船資料館で展示)

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
27 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	ユネスコの無形文化遺産に「高岡御車山祭」が登録されたことを契機に、5月1日を「高岡の歴史文化に親しむ日」とし、市内小・中・特別支援学校の児童生徒の郷土を愛する心を育む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内小・中・義務教育・特別支援学校の児童生徒が、俳句、短歌を作成する活動を通じ、高岡の歴史文化の魅力を再発見し、豊かな感性と郷土愛を育むことにつながった。
 【定量的評価】校内選考を通過した優秀作品数として、俳句の応募件数：189点(前年度比:-15) 短歌の応募件数:109点(前年度比:-1) 表彰数は、最優秀賞:各1点、優秀賞:各2点、佳作:各6点

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

令和6年度「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する応募作品 審査結果

部門	結果	学校名	学年	氏名	作品
俳句	最優秀賞	牧野小学校	5	酒井 瑠夏	復こうへ みんなの願いで 山車(だし)進む
	優秀賞	万葉小学校	5	南 涼介	五月晴れ 復興祈り 獅子が舞う
	優秀賞	伏木小学校	6	鶴谷 鼓音	山倉の 山車だす父の 背の広し
	佳作	下関小学校	4	吉本 健人	宵桜 古城の風に 舞い落ちる
	佳作	高岡西部小学校	5	平野 琴子	山まわし 花笠ゆらさぬ 見せどころ
	佳作	能町小学校	6	中井 紗羽	花笠の 隙間に覗く 春の空
	佳作	牧野小学校	4	間坂 俊介	だいぶつの らほつにアゲハ 春の風
	佳作	五位小学校	6	菅原 暁侑	けんか山 伏木の復興 後押しだ
	佳作	木津小学校	4	姫野凜太郎	伝統を 受け継ぐ父の 手がすきだ
短歌	最優秀賞	高陵中学校	3	松本 暖生	大仏の 薄く見開く 目の先に 日に照らされる 坂下の町
	優秀賞	芳野中学校	1	九鬼 舞	華やかな 万葉衣装を 身にまとい 歌人のこころに 想い馳せる日
	優秀賞	牧野中学校	3	中山 愛唯	御車が 引かれた後の 白き線 古(いにしえ)の思い 引きつれてゆく
	佳作	高岡西部中学校	1	島田 真緒	弟の 手を引き歩く 金屋町 風ふきぬける 千本格子
	佳作	南星中学校	3	湯浅 順太	ギーキーギー 山車の車輪の きしむ音 春風にのり 耳に伝わる
	佳作	志貴野中学校	3	川田 真央	陽に浮かぶ 匠が彫りし 技の跡 現在(いま)を通過して 未来に向かう
	佳作	伏木中学校	2	城谷麻菜美	勝興寺 本堂にいる 猿たちは 年中無休で 屋根を支える
	佳作	中田中学校	3	柴田 心咲	移田野(いかだの)の 豊かで清き 流れには ホタルが照らす 平和のともしび
佳作	福岡中学校	3	林 夏渚	喧嘩山 夜の灯籠 輝いて ドンッと一撃 波乱の予感	



評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	
29 越中国府関連遺跡調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(市内遺跡発掘調査等事業)
計画に記載している内容	越中国府関連遺跡における、古代・中世から近世に至るまでの重層する歴史の調査・研究を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

定性的評価:越中国府関連遺跡における調査・研究によって本市の歴史的風致の維持及び向上に寄与した。

令和6年度

- ①個人住宅等の開発における越中国府関連遺跡の試掘調査
- ②伏木中学校小中一貫校化に伴う校舎増築に伴い試掘調査
- ③企画展「越中国府に勤める人びと 一役人の一日」を万葉歴史館(R5.11.29～R6.4.22)埋蔵文化財センター(R6.4.29～)にて開催
- ④上越市で開催された「こしのくに国府サミット」において取り組み状況のプレゼンテーションを実施(R6.10.21～22)
- ⑤埋蔵文化財に興味関心を持ってもらうため、まちなか出張イベントを開催(R6.11.17)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



伏木中学校試掘調査の様子



企画展展示



こしのくに国府サミット



まちなか出張イベント

評価軸③-31

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況	

31 どこでもステージ事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 令和3年度～令和7年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内の名勝、寺社、町並みなどの歴史・文化資産をステージに、市内アーティストによる伝統芸能や音楽、ダンスなどのパフォーマンス動画を制作。その動画のオンライン配信により、歴史都市・文化創造都市の魅力を発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的建造物や町並みを活用した文化・芸術のパフォーマンス映像を動画サイトや市内イベント・施設において発信することで、本市の歴史的資産の新たな魅力を国内外に対して行っている。本事業により、「歴史都市高岡」の認知度がさらに向上し、市域全体の歴史的風致の維持及び向上に寄与した。

○公開中の動画(R3-R5制作)

《動画の内容》

- ①勝興寺での洋舞と箏曲の共演
 - ②金屋町での民踊と民謡の共演
 - ③瑞龍寺・雨晴海岸での日舞
 - ④山町筋(土蔵造りの町並み)での合唱
 - ⑤二上山での尺八と華道の共演
 - ⑥岸渡川での雅楽
- ※1作品につき、本編とダイジェストの2本制作

全作品の総再生回数 16,104回(令和7年3月末現在)
(うち令和6年度中の再生回数 1,668回)

《公開・配信サイト》

YouTube文化創造都市高岡公式チャンネル

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



文化創造都市高岡公式チャンネル



イオンモール高岡での放映の様子

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
1 文化財の保存・活用の現況と今後の具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 保存や活用に関する具体的な整備に実施については、専門家や関係機関に意見を聞きながら計画的に進めていくものとしている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存や活用に関する具体的な整備や実施にあたっては専門家や関係機関と緊密に連携しながらの取組を進めている。
 重要有形民俗文化財高岡御車山の修理にあたって、祭礼行事で使用する用具としての側面だけではなく、高岡の技術の粋を集めた美術工芸品的側面についてどのように修理方針を決定・管理するかについての専門家の意見を伺いながら総合的に判断している。また、重要伝統的建造物群保存地区保存修理にあたって文化庁・富山県と緊密に連携しながらの修理・修景方針を決定するとともに専門家の意見を伺いながら実施するなど、事業実施を通してノウハウの蓄積に努めている。
 また、民間事業者等との協定の締結により、地域に眠っている解読されていない資料の調査・収集・研究に取り組んでいくこととしている。そのほか、現在、高岡市文化財保存活用地域計画を策定中であり、文化財の保存や活用に関する具体的な整備や実施に関する事項を盛り込む予定である。
 なお、令和6年度の事業内容は以下のとおり。

★高岡市文化財保存活用地域計画の策定(令和7年7月認定を目指す)

- ・高岡御車山保存修理事業(P5参照)
- ・次世代型ものづくり人材育成事業(P7参照)
- ・文化財等修理補助事業(P9参照)
- ・コミュニティ助成事業(P12参照)
- ・金屋鋳物師町交流館整備事業(P15参照)
- ・勝興寺公開活用事業(P17参照)
- ・「赤レンガ建物」利活用事業(P23参照)
- ・獅子舞大競演会開催事業(P26参照)
- ・菅笠保全対策事業(P6参照)
- ・創業・事業承継支援補助事業(P8参照)
- ・ものづくり・デザイン科推進事業(P10参照)
- ・前田利長墓所整備事業(P13参照)
- ・高岡城跡保存整備事業(P16参照)
- ・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業(P18参照)
- ・前田家関連史跡調査事業(P24参照)
- ・越中国府関連遺跡調査事業(P32参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



高岡御車山保存修理事業



菅笠保全対策事業



次世代型ものづくり人材育成事業



文化財等修理補助事業

評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
2 文化財の修理(整備)に関する具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 登録有形文化財(建造物)及び未指定建造物のうち歴史的風致の維持に資するものである場合、歴史的風致形成建造物に指定したうえ、保存修理や美装化等に要する費用に対する各種補助制度を積極的に活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定は令和6年度時点で9件あり、必要な修理(整備)を施し、歴史的風致の維持に寄与している。そのほか、現在、高岡市文化財保存活用地域計画を策定中であり、文化財の修理(整備)について盛り込む予定である。

- ・市内町家等再生事業(P14参照)
- ・高岡市文化財保存活用地域計画の策定(令和7年7月認定を目指す)
- ・文化財建造物保存修理関係者等連絡協議会への出席

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

歴史的風致建造物の一覧



五福町神明社本殿



大手町神明社拝殿



旧秋元家住宅
(伏木北前船資料館)



佐野家住宅(主屋・茶室・1番の蔵・2番の蔵・調度蔵・味噌蔵・防火壁)



若井家住宅主屋(旧中越銀行)



高岡商工会議所伏木支所
(旧伏木銀行)



有藤家住宅



旧伏木測候所
(伏木気象資料館)



丸谷家住宅主屋・土蔵
(旧津野家住宅)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	令和6年度

現在の状況
<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物に指定した施設に対し、公開活用を図るとともに、ガイダンス等の情報発信の機会を提供するよう取組を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の指定にあたっては10年以上公開(外観:常時/内部:随時)することを条件としており、令和6年度時点では、9件が指定されている。
 なお、公共施設の歴史的風致形成建造物(旧秋元家住宅・旧伏木測候所)についてはガイダンス機能を有して情報発信に努めている。また、歴史的風致形成建造物に指定している佐野家住宅は現在レストランとして活用されている。そのほか、現在、高岡市文化財保存活用地域計画を策定中であり、文化財施設について盛り込む予定である。
 令和6年度は以下の事業をとおして、歴史的風致形成建造物の公開・活用に努めている。
 ・「高岡再発見」プログラム事業(P28参照)
 ・高岡市文化財保存活用地域計画の策定(令和7年7月認定を目指す)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「高岡再発見」プログラム事業

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	令和6年度
	現在の状況
4 文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 ・景観法、都市計画法及び市条例等と連動し、良好な景観の形成に努める。
 ・「たかおかストリート構想」と「伏木地区ストリート構想」を策定しており、今後取組を進めていく。
 ・高岡市新サイン計画に基づき必要に応じて整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財をとりまく周辺環境の保全は、該当の文化財の価値や魅力に影響する重要な要素であり、景観法・都市計画法及び市条例に基づき屋外広告物の適正化や伝統的な形式を持つ建造物等の規制・誘導による保全を図るとともに、道路の美化や街路灯の整備といった周辺環境の整備を推進している。県道岡・笹川線道路整備事業では、県と協働で旧北陸街道沿いの町並みにあうよう電柱と照明施設の修景化や側溝改修、消雪配管リフレッシュ工事を進めている。勝興寺寺内町道路修景整備事業では、旧参道を中心とした道路修景事業として、電柱移設(カラーポール化)、町並みにあった照明設置、デザインマンホール蓋設置、側溝整備を行い重要文化財勝興寺のある寺内町の良好な景観の形成を図った。

令和6年度は、以下の事業を実施し、良好な景観の形成に寄与した。そのほか、現在、高岡市文化財保存活用地域計画を策定中であり、周辺環境の保全について盛り込む予定である。

- ・県道岡笹川線道路整備事業(P19参照)
- ・勝興寺寺内町道路修景整備事業(P20参照)
- ・町並み保存・都市景観形成補助事業(P22参照)
- ・高岡市文化財保存活用地域計画の策定(令和7年7月認定を目指す)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



県道岡・笹川線道路整備事業



勝興寺寺内町道路修景整備事業

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	令和6年度
	現在の状況
5 文化財の防災に関する具体的な計画	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

文化財の現状に鑑み、その文化財の性質に応じた防災に関する事項を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

災害による文化財の損失に対して、訓練のみならず防災対策の徹底に努めることが被害を生み出さないこと及び被害を最小限に抑えることにつながるものであるという意識のもと、その文化財の性質に応じた防災機能の向上に努めている。毎年1月26日の文化財防火デーを中心として本市においても各建造物等を対象として防災訓練を実施している。

令和6年度は以下の事業の実施を通して、その文化財の性質に応じた防災機能の向上に努めており、広く防災意識の高揚を図ったほか、現在、高岡市文化財保存活用地域計画を策定中であり、文化財の防災について盛り込む予定である。また、令和6年能登半島地震を受けて文化庁が主催した伝統的建造物の防災をテーマとした研修会に参加した。

- ・文化財防火デー特別消防訓練の実施(令和7年1月)
- 実施文化財等
- 国宝 瑞龍寺、勝興寺
- 重要文化財 氣多神社、武田家住宅、佐伯家住宅
- 市指定文化財 戸出御旅屋の門
- 重要伝統的建造物群保存地区 3地区(山町筋、金屋町、吉久)
- ・高岡市文化財保存活用地域計画の策定(令和7年7月認定を目指す)

【第6章関係】

- ・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業(P18参照)
- ・令和6年能登半島地震を受けて伝統的建造物群保護行政研修会へ参加

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

令和6年能登半島地震に対して国、県、有識者等と連携して対応していく。

状況を示す写真や資料等



戸出御旅屋の門



勝興寺



伝統的建造物群保護行政研修会



瑞龍寺

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
6 文化財の普及・啓発に関する具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

文化財の保存を前提とし生きた歴史を体験できるプログラムの構築を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物の公開・活用のみならず、文化財の公開による普及・啓発にあたっては、本市固有の祭礼行事などの機会に合わせた情報発信の充実に努めている。学校における郷土学習の時間等を利用して、地域の歴史や自然環境・文化財・景観等について幅広い視点で学ぶ機会の創出に努めているとともに、あらゆる世代の市民に対し、祭礼行事等への参加機会の提供に努め、まちの関心や愛着を豊かに育てていくことを目指している。

令和6年度は以下の事業を通して文化財に関する様々なテーマを生涯学習の場で市民が気軽に学べる機会の提供に寄与している。例えば、御車山祭の開催される5月1日を「高岡の歴史文化に親しむ日」とし、市立学校を休業として地域祭礼に触れ合う機会を提供したり併せて歴史文化に関する俳句・短歌の作品募集・表彰を実施した。このほか、「高岡再発見プログラム『たかおか解体新書』」は毎年テーマを絞り、より詳しく解説することによって歴史的建造物等を巡るスタンプラリーに厚みをもたせた工夫を新たに始めた。このほか、現在、高岡市文化財保存活用地域計画を策定中であり、文化財の普及・啓発について盛り込む予定である。

- ・祭行事・イベント振興事業(P11参照)
- ・ミラレ金屋町開催事業(P25参照)
- ・獅子舞大競演会開催事業(P26参照)
- ・土蔵造りのある山町筋イベント助成事業(P27参照)
- ・「高岡再発見」プログラム事業(P28参照)
- ・新たな芸術・文化創造推進事業(P29参照)
- ・日本遺産魅力発信推進事業(P30参照)
- ・「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業(P31参照)
- ・高岡市文化財保存活用地域計画の策定(令和7年7月認定を目指す)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



祭行事・イベント振興事業



日本遺産魅力発信推進事業

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
7 埋蔵文化財の取扱いに関する具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 埋蔵文化財包蔵地内における発掘調査の記録を報告書として刊行し、記録保存を行うとともに、調査成果や出土品等を高岡市埋蔵文化財センターで公開する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年度は埋蔵文化財の取扱いに関して以下の事業を実施している。調査成果を報告書として刊行・記録保存するとともに高岡市埋蔵文化財センター常設展「発掘された高岡」で公開・活用に供している。また、企画展「越中国府に勤める人びと 一役人の一日」を万葉歴史館(R5.11.29～R6.4.22)埋蔵文化財センターで開催した。越中国府関連遺跡では伏木中学校小中一貫校化に伴う増築工事のための試掘調査を実施した。このほか、現在、高岡市文化財保存活用地域計画を策定中であり、埋蔵文化財の取扱いについて盛り込む予定である。

- ・前田利長墓所整備事業(P13参照)
- ・高岡城跡保存整備事業(P16参照)
- ・前田家関連史跡調査事業(P24参照)
- ・越中国府関連遺跡調査事業(P32参照)
- ・高岡市文化財保存活用地域計画の策定(令和7年7月認定を目指す)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

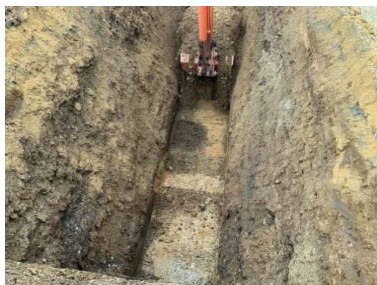
状況を示す写真や資料等



前田家関連史跡調査事業



越中国府関連遺跡調査事業



越中国府関連遺跡調査事業(伏木中学校試掘調査)

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和6年度
		現在の状況
8 各種団体の状況及び今後の体制整備の具体的な計画		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 ・市民有志や文化財の保存団体による、文化財の保存活用に関わる取組を支援する。
 ・市民や専門家、行政の協働による検討の場が設置されることが望ましい。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市民が連携した文化財の保存・活用において、特に未指定文化財については、市民の意見や発想のもと、市民が主体となってその保存と管理にあたっていくことが望ましく、地域全体に広がりを見せる関連文化財群の特性を踏まえ、その仕組みづくりのための支援充実を図っている。重伝建地区に選定されている吉久地区ではNPO法人主催のもとワークショップが行われ地域住民主体の保存・活用に関する意識の醸成が図られている。

令和6年度は以下の事業を実施し、市民有志や文化財の団体による、文化財の保存・活用に関わる取組み支援の充実を図った。そのほか、現在、高岡市文化財保存活用地域計画を策定中であり、文化財の保存・活用の推進体制について明記して各種団体に対する支援等を盛り込む予定である。

- ・ミラレ金屋町開催事業(P25参照)
- ・獅子舞大競演会開催事業(P26参照)
- ・土蔵造りのある山町筋イベント助成事業(P27参照)
- ・新たな芸術・文化創造推進事業(P29参照)
- ・日本遺産魅力発信推進事業(P30参照)
- ・高岡市文化財保存活用地域計画の策定(令和7年7月認定を目指す)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



ミラレ金屋町開催事業



新たな芸術・文化創造推進事業(市場街)



獅子舞大競演会開催事業



土蔵造りのある山町筋イベント助成事業(土蔵造りフェスタ)



日本遺産魅力発信推進事業(日本遺産フェス会津若松)

評価軸⑤ 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	年月日	評価対象年度 令和6年度 掲載紙等
歴史、文化の解説パネル	R6.4.3	富山新聞
被災ピアノ 国宝で演奏	R6.4.11	富山新聞
復興と平穏願ひ一服 高岡茶会 勝興寺で開幕	R6.4.14	富山新聞
輝く国宝 復興祈る 高岡瑞龍寺春のライトアップ	R6.4.30	北日本新聞
輝く山車に復興願う 高岡御車山祭・青山 3基ライトアップ	R6.5.1	富山新聞
高岡御車山祭「祇園祭よりも見応え」	R6.5.2	富山新聞
瑞龍寺で初の獅子舞	R6.5.2	富山新聞
高岡の名所カードに 高岡向陵高37種類を制作	R6.5.3	富山新聞
吉久22年ぶり雄々しく豪快 高岡で獅子大競演会	R6.5.4	富山新聞
高岡金屋 御印祭奉納踊り 利長公墓所除く2カ所で	R6.5.9	北日本新聞
高岡・菅野家 国重文に3棟 山町筋「歴史のまち」に弾み	R6.5.18	富山新聞
震災に負けず「イヤサー」高岡伏木曳山祭	R6.5.19	読売新聞
利長しのび燭光能 高岡・瑞龍寺	R6.5.21	富山新聞
熱さに耐え 健康祈る 瑞龍寺で「ひとつやいと」	R6.6.2	富山新聞
山岡鉄舟の書簡公開 国泰寺に関わる資料展示	R6.6.8	北日本新聞
「赤レンガの銀行」活用 年内に事業者を決定	R6.6.21	富山新聞
高岡で御印祭本祭 鋳物産業繁栄願う 利長しのび踊り奉納	R6.6.21	北日本新聞
金屋町の石畳 光で演出	R6.7.8	北日本新聞
山町筋土蔵造りフェスタ 風情ある街並み満喫	R6.8.6	北日本新聞
前田利長墓所 一部を再開放 被災後に安全対策	R6.8.9	読売新聞
「高岡御車山祭」最古の屏風 江戸後期作か	R6.9.3	読売新聞
ものづくりのまち巡って魅力満喫 富山・高岡でクラフトの祭典開幕	R6.9.22	北日本新聞
ミラレ金屋が開幕	R6.9.23	富山新聞
文化財レスキューで貴重資料 勝興寺関連の古文書収集	R6.9.27	北日本新聞
旧街道歩き作品鑑賞 さまのこアート 町並み彩る	R6.10.20	北日本新聞
車いすで国宝拝観 伏木勝興寺 初のバリアフリー企画	R6.10.30	北日本新聞
北中「赤レンガの銀行」ホテルに	R6.11.23	北陸中日新聞
「赤レンガの銀行」宿泊施設に	R6.11.24	富山新聞
文化生かし交流人口拡大 赤レンガ銀行、宿泊施設に改修	R6.12.3	富山新聞
庄川の分離工事くつきり 伏木港の変遷海図	R7.12.5	北陸中日新聞
市町村別2024重大ニュース 高岡市「赤レンガの銀行」がレストラン・ホテルに	R6.12.20	北日本新聞
金屋重伝建地区 建造物2件追加	R7.2.13	富山新聞
高岡・鋳物師館に交流展示棟	R7.2.15	富山新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
歴史的風致維持向上計画に係る各種報道等を通じて、市民自ら高岡の歴史を再認識し誇りと愛着を持っていこうとする機運が高まった。今年度は、令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」もあり、国宝指定を受けた瑞龍寺等をはじめ、能登半島地震からの復興を願うイベントが多々行われ、歴史資産の「活用」が少しでも増えた1年であった。また、市内の学生や民間の協力によって地域の魅力を発信できる機会もあり、歴史的風致維持のより一層の向上が図られた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		

評価対象年度	令和6年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和6年度高岡市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時: 令和7年2月18日(火)10時00分～11時15分	
<p>○高岡市歴史まちづくり計画の変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1のp5「県道岡笹川線道路整備事業」に関して、福岡の町並みについては重要伝統的建造物群保存地区に選定されるのが望ましい。伝統的建造物の現状や修景事業の進捗についてはどのような状況であるか。 ・県道岡笹川線の無電柱化の取組みについてはどのような状況はであるか。 <p>○高岡市歴史まちづくり計画進行管理・評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2のp6「菅笠保全対策事業」について、スゲの栽培工程のうち、田起こし以外のほとんどが手作業であるため、高齢化、人手不足の中で継続が困難になったことが起因していると思われる。富山県では「中山間地域保全パートナーシップ推進事業」を推進しており、人材をマッチングして紹介できるような支援も可能である。ぜひ検討していただきたい。 ・福岡のスゲは、伊勢神宮の式年遷宮など、全国の伝統行事で使われているため、スゲ生産の減少は全国規模の影響が懸念される。減少に歯止めをかける必要がある。 ・「菅笠保全対策事業」について、進捗しているとあるが、進捗しているというのは厳しいのではないか。スゲ田の試験田はこれまでも実施されてきた。減少に歯止めをかけるためには、労力を減らすため機械化していくことが必要であると考えている。現在の試験田は機械化に向けた技術を検証するためのものか。 ・資料2のp6「高岡御車山保存修理事業」について、有形文化財の修理事業は大変な苦労がある。喫緊の課題としては修理を担う人の高齢化であり、人材育成が必要である。また、「高岡御車山保存修理事業」では大規模な車輪の修理が完了したため、修理事業が小規模化すると修理を担う人の生業が途切れることになり、技術者、職人等の離散に繋がりがかねない。 ・全国的に文化財の保存修理・修復に携わる人材の確保は喫緊の課題である。保存修理・修復事業は生業として成立するものでなくてはならない。また、技術者・職人だけではなく、修理道具や原材料の生産者についても生業として成立しなければ保存修理・修復事業が成り立たなくなってしまう。 ・資料2のp35「文化財の修理(整備)に関する具体的な計画」に関して、伏木地区にある高岡商工会議所伏木支所、棚田家住宅、谷村家住宅については液状化による被害が深刻で存続が危ぶまれている。所有者に対して支援をお願いしたい。 ・資料2のp12「コミュニティ助成事業」について、地域祭礼で使用する道具の修理・購入に対する補助は重要なことであると認識している。修理に関して、道具は文化財として指定されているものではないが、文化財的価値を損なう修理内容になっていないか留意する必要がある。また、海外製の安価な道具を購入することともいかなものかと思っている。 ・資料4には高岡城跡の本丸土橋の災害対応について掲載があるが資料2の評価シートについても災害対応を記載する必要があるのではないか。災害対応によって計画の進捗に影響がでていることなども見えてくるのではないか。 ・資料2のp34「文化財の保存・活用の現況と今後の具体的な計画」について、文化財の保存・活用を進めていく上で文化財保存活用地域計画の策定は重要であると考えているが、策定に向けた取り組みは。 ・文化財の修理について、3Dスキャンなどデジタルデータの活用も有効であると考えている。現在、資料やデータを求めており、今後、市と連携するなど協力できたらいいと考えている。 ・資料2のp41「各種団体の状況及び今後の体制整備の具体的な計画」について、風致維持向上計画と文化財保存活用地域計画の整合性を図る必要がある。特に、未指定の文化財についても配慮が必要で、例えば、官田も市場原理に委ねるだけでなく、未指定の文化的景観として保護が必要である。 <p>○その他報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2007年の能登半島地震の被害を受けた土蔵の修復に携わったが、土蔵の修理を担える職人の不足が課題である。土蔵の修理事業の実施の際は、将来のために修理の工程や修理状況の記録を公開してアピールしていただきたい。 ・全国的に大工、特に左官職人の不足が深刻である。左官職人は、左官工事の合間に現代工法の現場に従事するなど兼業しなければ生活できない状況である。また、資料には工期についての記載があるが柔軟な対応をお願いしたい。 ・土蔵の土壁の崩落は、土壁が地震の揺れを吸収した結果であり、土蔵の倒壊を免れる役割を果たしたとみている。しかし、構造躯体が経年劣化すると倒壊の危険性が増すため、土壁の修理と併せて構造躯体の修理をする必要がある。また、左官職人の育成は難しい点がある。例えば、修理と新築では工法が異なるため、新築工法を学んだ後に修理工法も学ぶ必要がある。このほか、工法に関して地域性が大きいことも課題となっている。 	
<p>今後の対応方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高岡市歴史まちづくり計画の変更について ・町並み全体の60%ほどが伝統建造物として現存している。今年度は2件の修景事業を実施した。全体で1%ほど進捗した。 ・現在、電柱のカラー化を実施しており、今後も電柱のカラー化を進めることとしている。 <p>○高岡市歴史まちづくり計画進行管理・評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先日、富山県伝統的工芸品産業振興協議会において伝統工芸文化継承・産業振興プログラムが策定されたところ。この会議でもスゲ生産の減少が話題となり、深刻な課題であると受け止めている。現在、保存会、生産組合、振興会の3団体や後継者育成講座受講生が試験田でのスゲの栽培体験を実施するなど減少に歯止めをかける取組みを実施している。なお、富山県の事業については、要件があれば活用を検討するとともに、今後とも伝統産業支援課や農林水産部においては、ご支援願いたい。 ・「菅笠保全対策事業」について、後継者育成事業については順調に進捗しているが、材料となるスゲの生産の面では大きな課題であると認識している。試験田については現在のところ、スゲの栽培体験を目的として実施していると同時に、栽培に係る労働時間などコストも計算するものである。 ・市内町家等再生事業の補助金など支援メニューを案内している。引き続き所有者に対する支援を継続していきたい。 ・評価シートに災害対応についても記載を検討させていただく。 ・令和7年7月の認定を目指して取り組んでいるところである。 	